

令和6年度当初予算のポイント

(水道事業会計・工業用水道事業会計・下水道事業会計)

次世代につなぐ 信頼ある上下水道 ～呉のみずを守り抜く～



令和6年2月
呉市上下水道局



令和6年度予算(水道事業会計・工業用水道事業会計・下水道事業会計)

水道事業・下水道事業の基本方針

令和6年度を初年度とする呉市上下水道事業の経営計画である「呉市上下水道ビジョン2024～2033」の取組を着実に進め、基本理念として掲げる「次世代につなぐ 信頼ある上下水道～呉のみずを守り抜く～」を実現し、現在、そして将来も安全で安心な上下水道サービスを安定してお届けできるよう全力を尽くしていきます。

工業用水道事業の基本方針

将来にわたり工業用水道の安定的な供給を維持するために策定した、令和6年度を初年度とする「呉市工業用水道事業経営戦略2024～2033」の取組を推進し、引き続き事業運営の効率化などを進め、今後も低廉な料金を維持しながら安定的な経営に努めていきます。

令和6年度予算(水道事業会計・工業用水道事業会計・下水道事業会計)

水道事業会計

※ ()内は前年度比較

- 業務の予定量
給水戸数 109,000戸(▲0.5%), 年間配水量 21,497,000 m³(▲0.1%), 1日平均配水量 58,735 m³(▲0.3%)
- 主要な事業
施設の改築・更新及び耐震化の推進, 施設の強靱化の推進, 効率的な事業の推進, 復興事業の推進

工業用水道事業会計

- 業務の予定量
給水先事業所数 6社(一), 年間配水量 25,039,000 m³(▲11.3%), 1日平均配水量 68,600 m³(▲11.1%)
- 主要な事業
施設の改築・更新及び耐震化の推進, 効率的な事業の推進

下水道事業会計

- 業務の予定量
排水戸数 95,900戸(+1.8%), 年間総処理水量 23,413,000 m³(▲1.5%), 1日平均処理水量 63,970m³(▲1.8%)
- 主要な事業
施設の改築・更新及び耐震化の推進, 下水道未普及地区の整備促進, 施設の強靱化の推進, 浸水対策(雨水整備)の推進, 効率的な事業の推進, 復興事業の推進

「呉市上下水道ビジョン2024～2033」「呉市工業用水道事業経営戦略2024～2033」に基づき、施設・管路の耐震化及び強靱化、経営の効率化を着実に実施

1. 安全で安定した水循環づくり

- 水源システムの最適化 (P20)

【水道】	2,712万円
【工水】	770万円
・《新》戸坂取水場取水施設撤去実施設計業務	水道2,332万円
- 水道施設運用の最適化 (P21)

【水道】	9,383万円
・配水池築造・ポンプ所建設実施設計業務	水道6,512万円
- 水道施設の改築・更新及び耐震化の推進 (P21)

【水道】	13億6,634万円
【工水】	8,147万円
・宮原浄水場薬品注入設備工事	水道9億1,825万円
・久比沖友ポンプ所電気設備その他工事	水道1億1,000万円
・宮原浄水場発電機棟建設工事	水道1億315万円
- 管路の更新及び耐震化の推進 (P22)

【水道】	14億5,491万円
・配水管の更新	水道9億8,038万円
- 管きよの改築・更新及び耐震化の推進 (P23)

【下水道】	4億4,765万円
・下水道管きよの改築更新	下水道4億4,765万円
- 下水道施設の改築・更新及び耐震化の推進 (P23)

【下水道】	16億566万円
・広浄化センターの設備更新	下水道6億2,223万円
・新宮浄化センターの設備更新	下水道5億9,190万円
- 下水道未普及地区の整備促進 (P24)

【下水道】	5億5,190万円
・地域に適した方法による未普及地区の整備	下水道5億5,190万円

2. 災害に強い上下水道づくり

- 上下水道施設の強靱化の推進 (再掲) (P25)

【水道】	29億1,508万円
【工水】	8,147万円
【下水道】	20億5,331万円
・処理場・ポンプ場の耐震化	下水道16億566万円
・管路の耐震化	水道14億5,491万円
・浄水場の強靱化	水道10億2,140万円
・下水道管きよの改築更新	下水道4億4,765万円
- 浸水対策 (雨水整備) の推進 (P26)

【下水道】	2億1,338万円
・広雨水1号幹線の整備	下水道1億5,200万円
・雨水出水浸水想定区域図の作成	下水道3,500万円

3. 効率的で持続可能な上下水道づくり

- 効率的な事業の推進 (P27)

【水道】	△1億3,151万円
【工水】	△1億2,684万円
・戸坂取水場の廃止による効果額	水道△1億3,151万円
・遊休地の売却による効果額	工水△1億2,684万円
- ICTを活用した業務の効率化 (P27)

【水道】	943万円
・《新》AI技術を活用した漏水調査業務	水道943万円
- お客様とのコミュニケーションの推進 (P30)

【水道】	141万円
【工水】	13万円
【下水道】	102万円
・子ども水道教室などの開催	水道・工水・下水191万円

復興事業

※各項目に記載しているページに趣旨・目的を掲載

【水道】29億2,575万円 【下水】22億6,669万円

平成30年7月豪雨災害からの復興に向け、「呉市復興計画」に基づき事業を効率的に推進

1. 上下水道施設の強靱化

○水道施設の強靱化 (P31)

【水道】 29億1,508万円

* 主要事業「水道施設運用の最適化」, 「水道施設の改築・更新及び耐震化の推進」, 「管路の更新及び耐震化の推進」と重複

○下水道施設の強靱化 (P31)

【下水】 22億6,669万円

* 主要事業「管きよの改築・更新及び耐震化の推進」, 「下水道施設の改築・更新及び耐震化の推進」, 「浸水対策（雨水整備）の推進」と重複

2. 応急給水体制の強化

○発災時における応急給水体制の強化 (P31)

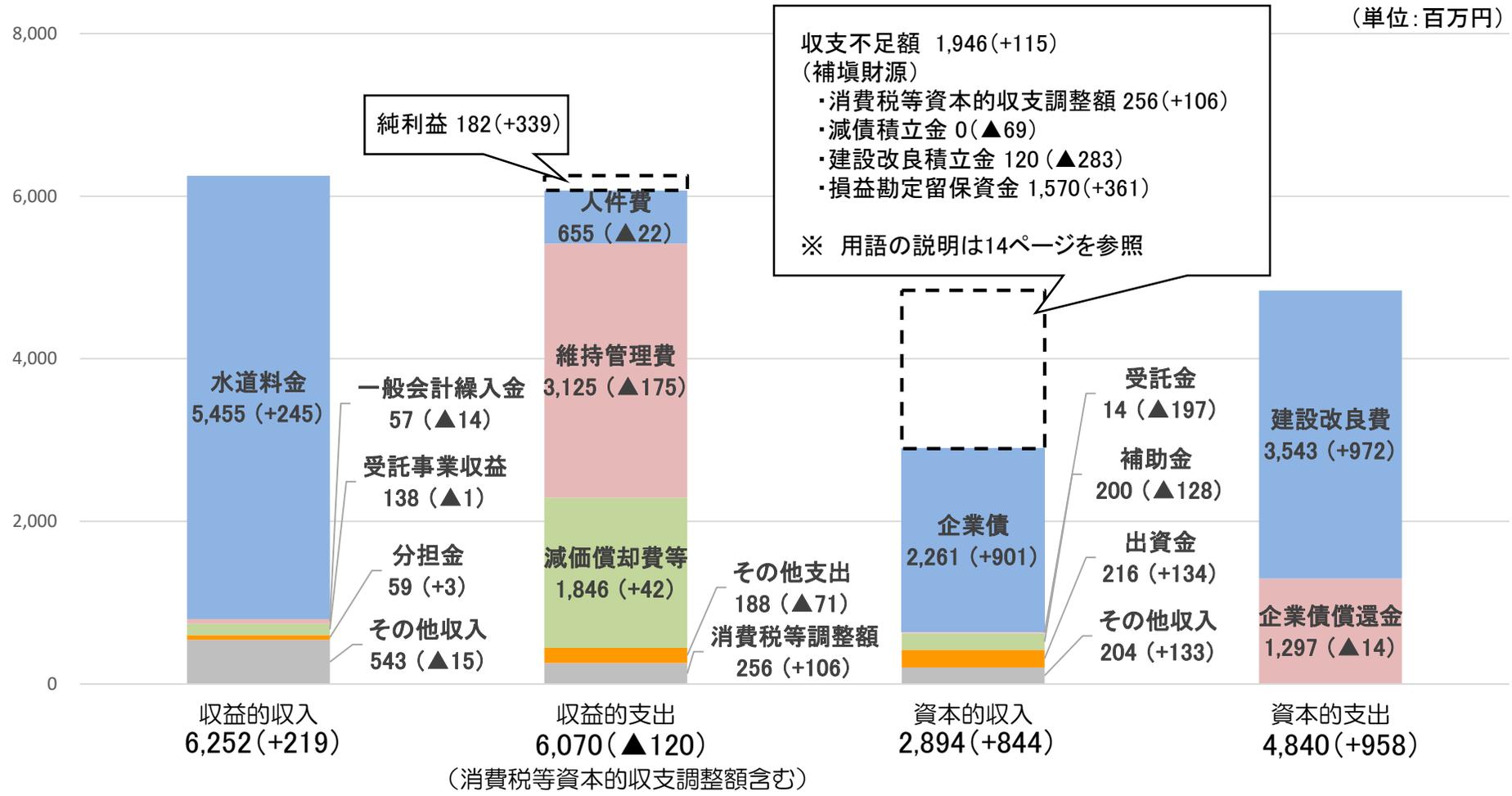
【水道】 1,067万円

・ 緊急時給水栓の設置（昭和・郷原市民センター） 水道1,067万円

令和6年度 水道事業会計予算

※ 各項目を四捨五入しているため、
合計と一致しない場合がある。
※ ()内は前年度比較

○収益的収入：料金改定に伴う水道料金の増などにより増加 (+219百万円)
 収益的支出：戸坂取水場の廃止に伴う維持管理費の減などにより減少 (▲120百万円)
 ○純 損 益：前年度に比べ339百万円増の**182百万円の純利益**



収益的収支予算
(管理・運営等に係る予算)

資本的収支予算
(施設の建設・更新等に係る予算)

令和6年度 水道事業会計予算の内訳

(単位:千円, % 税込み)

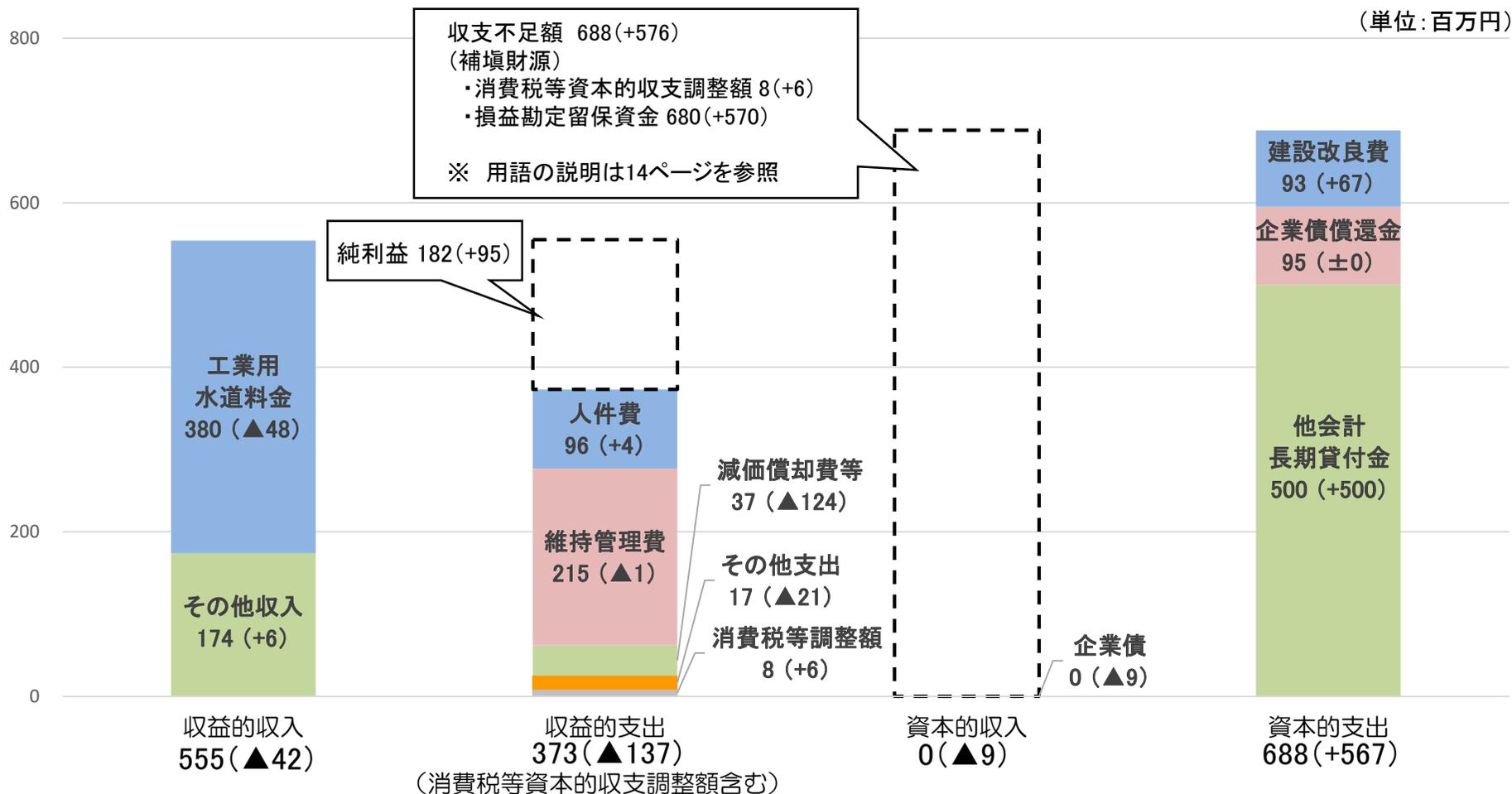
区分	令和6年度 ①	令和5年度 ②	比較		主な増減理由	
			増減(①-②)	伸び率		
収益的 収支	収益的収入 A	6,252,044	6,032,764	219,280	3.6	
	水道料金	5,455,457	5,210,417	245,040	4.7	料金改定(改定率6.6%)による増
	一般会計繰入金	57,394	71,314	△13,920	△19.5	高料金対策に要する経費△12,294
	受託事業収益	137,626	138,230	△604	△0.4	管理受託収益△604
	分担金	58,867	55,495	3,372	6.1	給水装置の口径変更分+3,251
	その他収入	542,700	557,308	△14,608	△2.6	他会計負担金△31,504
	収益的支出 B	5,813,857	6,039,607	△225,750	△3.7	
	人件費	654,652	676,316	△21,664	△3.2	職員人件費△20,784
	維持管理費	3,124,570	3,299,444	△174,874	△5.3	委託料△69,328, 修繕費△27,031, 動力費△21,397
	減価償却費等	1,846,244	1,804,545	41,699	2.3	資産減耗費+30,570, 減価償却費+11,129
その他支出	188,391	259,302	△70,911	△27.3	戸坂送水施設使用料△65,173	
消費税等資本的収支調整額 C	255,953	150,304	105,649	—		
純損益(A-B-C)	182,234	△157,147	339,381	—		
資本的 収支	資本的収入 A	2,894,385	2,050,714	843,671	41.1	
	企業債	2,260,500	1,359,300	901,200	66.3	水道施設整備事業債+941,000, 水道管路整備事業債△39,800
	受託金	13,871	210,449	△196,578	△93.4	広島県水道広域連合企業団専用施設整備受託金△133,857
	補助金	199,543	327,294	△127,751	△39.0	老朽管更新事業補助金△123,316
	出資金	216,098	81,891	134,207	163.9	過疎債を活用した旧簡易水道施設の更新に要する経費+119,300
	その他収入	204,373	71,780	132,593	184.7	工事負担金+89,956
	資本的支出 B	4,839,923	3,881,567	958,356	24.7	
	建設改良費	3,542,878	2,570,519	972,359	37.8	水道施設整備事業費+1,115,407, 水道管路整備事業費△162,045
企業債償還金	1,297,045	1,311,048	△14,003	△1.1	建設企業債償還金△14,003	
収支不足額(A-B)	△1,945,538	△1,830,853	△114,685	—		

※収支不足額は、損益勘定留保資金等で補填

令和6年度 工業用水道事業会計予算

※ 各項目を四捨五入しているため、
合計と一致しない場合がある。
※ ()内は前年度比較

- 収益的収入：契約水量の減による工業用水道料金の減などにより減少（▲42百万円）
- 収益的支出：減価償却費等の減などにより減少（▲137百万円）
- 純損益：前年度に比べ95百万円増の**182百万円の純利益**



収益的収支予算
(管理・運営等に係る予算)

資本的収支予算
(施設の建設・更新等に係る予算)

令和6年度 工業用水道事業会計予算の内訳

(単位:千円, % 税込み)

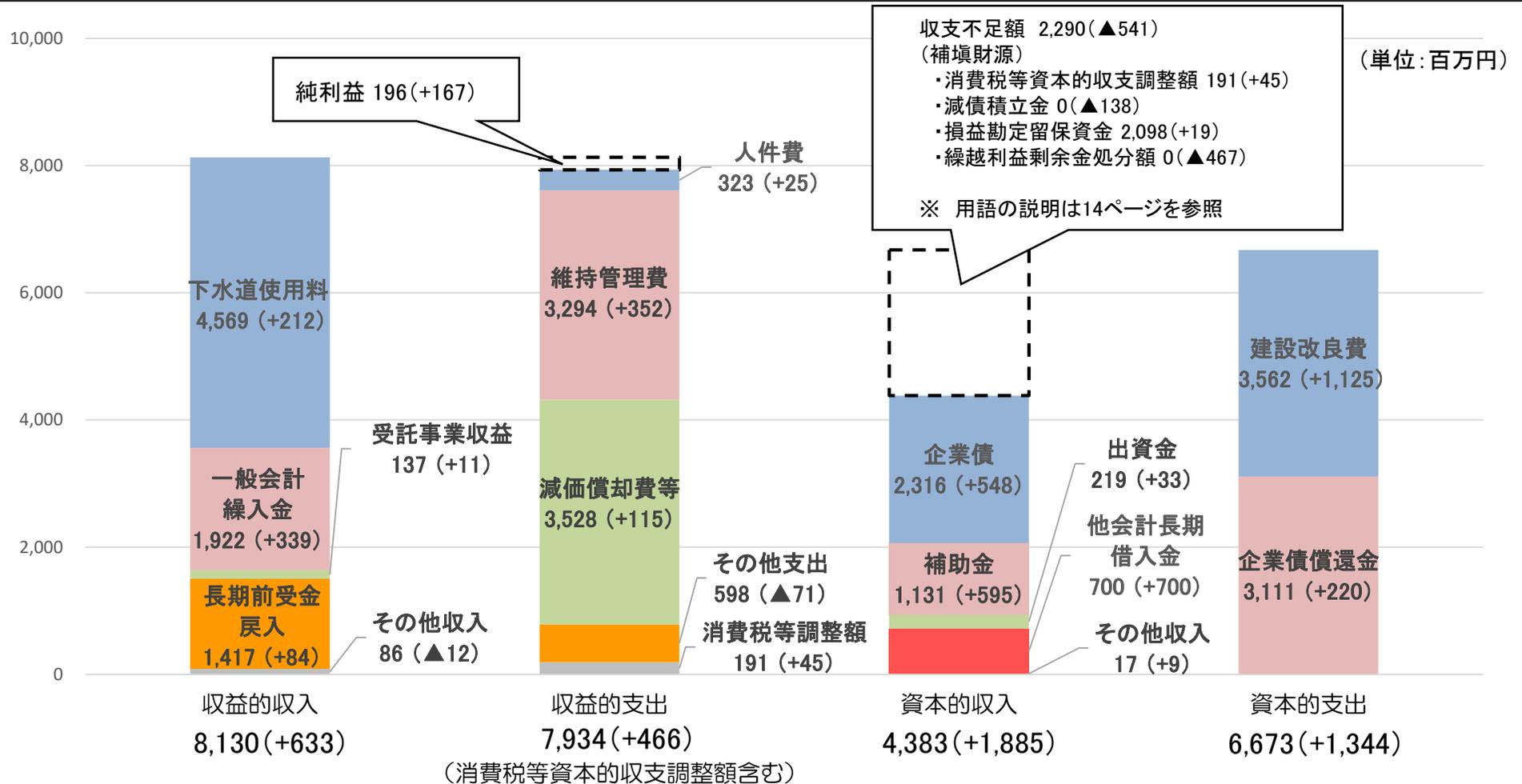
区分	令和6年度 ①	令和5年度 ②	比較		主な増減理由	
			増減(①-②)	伸び率		
収益的 収支	収益的収入 A	554,967	597,192	△42,225	△7.1	
	工業用水道料金	380,089	428,558	△48,469	△11.3	契約水量の減△47,428
	一般会計繰入金	408	408	0	—	
	その他収入	174,470	168,226	6,244	3.7	特別利益+28,000, 長期前受金戻入△22,679
	収益的支出 B	365,481	508,470	△142,989	△28.1	
	人件費	96,384	92,477	3,907	4.2	職員人件費+3,907
	維持管理費	215,298	216,665	△1,367	△0.6	負担金△59,451, 動力費△1,029, 委託料+60,508
	減価償却費等	36,539	160,620	△124,081	△77.3	減価償却費△129,541, 資産減耗費+5,460
	その他支出	17,260	38,708	△21,448	△55.4	消費税及び地方消費税△10,656
	消費税等資本的収支調整額 C	7,513	1,448	6,065	—	
純損益(A-B-C)	181,973	87,274	94,699	—		
資本的 収支	資本的収入 A	134	9,300	△9,166	△98.6	
	企業債	0	9,000	△9,000	皆減	管路整備事業債△9,000
	その他収入	134	300	△166	△55.3	土地売却代金△166
	資本的支出 B	687,920	121,408	566,512	466.6	
	建設改良費	93,413	26,702	66,711	249.8	施設整備事業費+76,479, 管路整備事業費△9,900
	企業債償還金	94,507	94,706	△199	△0.2	建設企業債償還金△199
	他会計長期貸付金	500,000	0	500,000	皆増	下水道事業会計貸付金+500,000
収支不足額(A-B)	△687,786	△112,108	△575,678	—		

※収支不足額は、損益勘定留保資金等で補填

令和6年度 下水道事業会計予算

※ 各項目を四捨五入しているため、合計と一致しない場合がある。
 ※ ()内は前年度比較

- 収益的収入：集落排水事業の会計統合に伴う一般会計繰入金の増などにより増加 (+ 6 3 3 百万円)
- 収益的支出：集落排水事業の会計統合に伴う維持管理費の増などにより増加 (+ 4 6 6 百万円)
- 純 損 益：前年度に比べ1 6 7 百万円増の **1 9 6 百万円の純利益**



収益的収支予算
 (管理・運営等に係る予算)

資本的収支予算
 (施設の建設・更新等に係る予算)

令和6年度 下水道事業会計予算の内訳

(単位:千円, % 税込み)

区分	令和6年度 ①	令和5年度 ②	比較		主な増減理由	
			増減(①-②)	伸び率		
収益的 収支	収益的収入 A	8,130,474	7,497,231	633,243	8.4	
	下水道使用料	4,568,522	4,356,950	211,572	4.9	料金改定(改定率6.2%)による増
	一般会計繰入金	1,921,792	1,582,947	338,845	21.4	集落排水事業+297,777
	受託事業収益	137,272	126,326	10,946	8.7	東部処理場受託事業収益+12,373
	長期前受金戻入	1,416,588	1,332,947	83,641	6.3	集落排水事業+112,589
	その他収入	86,300	98,061	△11,761	△12.0	集落排水事業負担金△46,771
	収益的支出 B	7,742,929	7,321,464	421,465	5.8	
	人件費	322,831	298,261	24,570	8.2	集落排水事業+26,640
	維持管理費	3,294,033	2,941,574	352,459	12.0	集落排水事業+195,923
	減価償却費等	3,527,831	3,412,343	115,488	3.4	集落排水事業+219,531
その他支出	598,234	669,286	△71,052	△10.6	集落排水事業人件費△46,771	
消費税等資本的収支調整額 C	191,338	146,716	44,622	—		
純損益(A-B-C)	196,207	29,051	167,156	—		
資本的 収支	資本的収入 A	4,382,914	2,497,671	1,885,243	75.5	
	企業債	2,316,200	1,767,900	548,300	31.0	建設企業債+483,700
	補助金	1,130,501	535,540	594,961	111.1	建設改良事業国庫補助金+594,961
	出資金	219,061	185,884	33,177	17.8	集落排水事業+25,713
	他会計長期借入金	700,000	0	700,000	皆増	工業用水道事業借入金+500,000, 一般会計借入金+200,000
	その他収入	17,152	8,347	8,805	105.5	受益者分担金+5,183, 工事負担金+3,900
	資本的支出 B	6,672,568	5,328,080	1,344,488	25.2	
建設改良費	3,561,801	2,436,904	1,124,897	46.2	公共下水道事業費+947,681, 集落排水建設改良事業費+180,900	
企業債償還金	3,110,767	2,891,176	219,591	7.6	建設企業債償還金+164,038, 資本費平準化償還金+49,973	
収支不足額(A-B)	△2,289,654	△2,830,409	540,755	—		

※令和6年度から集落排水事業を会計統合

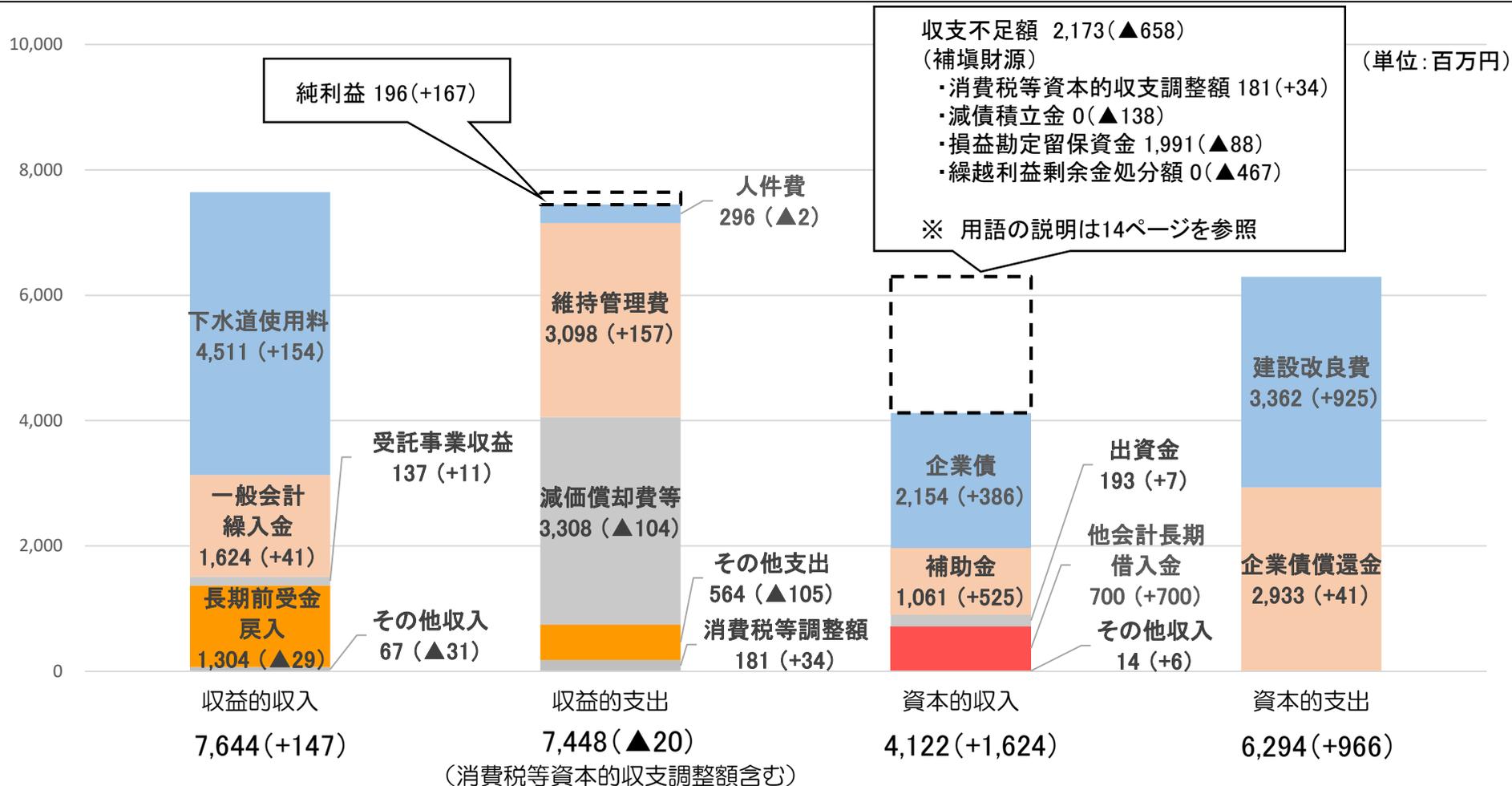
※収支不足額は、損益勘定留保資金等で補填

【参考】

令和6年度 下水道事業会計予算(公共下水道事業のみ)

※ 各項目を四捨五入しているため、合計と一致しない場合がある。
※ ()内は前年度比較

- 収益的収入：料金改定に伴う下水道使用料の増などにより増加 (+147百万円)
- 収益的支出：減価償却費等の減などにより減少 (▲20百万円)
- 純損益：前年度に比べ167百万円増の**196百万円の純利益**



収益的収支予算
(管理・運営等に係る予算)

資本的収支予算
(施設の建設・更新等に係る予算)

【参考】 令和6年度 下水道事業会計予算の内訳(公共下水道事業のみ)

(単位:千円, % 税込み)

区分	令和6年度 ①	令和5年度 ②	比較		主な増減理由	
			増減(①-②)	伸び率		
収益的 収支	収益的収入 A	7,643,929	7,497,231	146,698	2.0	
	下水道使用料	4,511,301	4,356,950	154,351	3.5	料金改定(改定率6.2%)による増
	一般会計繰入金	1,624,015	1,582,947	41,068	2.6	高資本費対策に要する経費+95,893, 雨水処理に要する経費△36,743
	受託事業収益	137,272	126,326	10,946	8.7	東部処理場受託事業収益+12,373
	長期前受金戻入	1,303,999	1,332,947	△28,948	△2.2	有形固定資産長期前受金戻入△28,948
	その他収入	67,342	98,061	△30,719	△31.3	集落排水事業負担金△46,771
	収益的支出 B	7,266,596	7,321,464	△54,868	△0.7	
	人件費	296,191	298,261	△2,070	△0.7	職員人件費△2,335
	維持管理費	3,098,110	2,941,574	156,536	5.3	委託料+160,773, 修繕費+82,448, 動力費△125,430
	減価償却費等	3,308,300	3,412,343	△104,043	△3.0	減価償却費△122,993, 資産減耗費+18,950
その他支出	563,995	669,286	△105,291	△15.7	集落排水事業費△46,771, 消費税及び地方消費税△34,469	
消費税等資本的収支調整額 C	181,126	146,716	34,410	—		
純損益(A-B-C)	196,207	29,051	167,156	—		
資本的 収支	資本的収入 A	4,121,790	2,497,671	1,624,119	65.0	
	企業債	2,153,700	1,767,900	385,800	21.8	建設企業債+375,800, 資本費平準化債+10,000
	補助金	1,060,850	535,540	525,310	98.1	建設改良事業国庫補助金+525,310
	出資金	193,348	185,884	7,464	4.0	企業債元金+7,464
	他会計長期借入金	700,000	0	700,000	皆増	工業用水道事業借入金+500,000, 一般会計借入金+200,000
	その他収入	13,892	8,347	5,545	66.4	工事負担金+3,900, 受益者分担金+1,923
	資本的支出 B	6,294,290	5,328,080	966,210	18.1	
建設改良費	3,361,704	2,436,904	924,800	37.9	公共下水道事業費+947,681, 特定環境保全事業費△42,400	
企業債償還金	2,932,586	2,891,176	41,410	1.4	資本費平準化債償還金+20,937, 建設企業債償還金+14,893	
収支不足額(A-B)	△2,172,500	△2,830,409	657,909	—		

※収支不足額は、損益勘定留保資金等で補填

令和6年度 一般会計繰入金の状況

【水道事業会計】

(単位:千円, % 税込み)

区分	令和6年度 ①	令和5年度 ②	比較		主な増減理由
			増減(①-②)	伸び率	
収益的収入	57,394	71,314	△13,920	△19.5	
負担金	31,454	31,414	40	0.1	
補助金	25,940	39,900	△13,960	△35.0	高料金対策補助金の減
資本的収入	252,406	81,891	170,515	208.2	
負担金	36,308	0	36,308	皆増	消火栓等設置経費負担金の皆増
出資金	216,098	81,891	134,207	163.9	過疎債を活用した建設改良出資金の皆増
合計	309,800	153,205	156,595	102.2	

【工業用水道事業会計】

(単位:千円, % 税込み)

区分	令和6年度 ①	令和5年度 ②	比較		主な増減理由
			増減(①-②)	伸び率	
収益的収入	408	408	0	—	
補助金	408	408	0	—	
合計	408	408	0	—	

【下水道事業会計】

(単位:千円, % 税込み)

区分	令和6年度 ①	令和5年度 ②	比較		主な増減理由
			増減(①-②)	伸び率	
収益的収入	1,921,792	1,582,947	338,845	21.4	
負担金	958,987	995,730	△36,743	△3.7	雨水処理負担金の減
補助金	962,805	587,217	375,588	64.0	集落排水事業補助金, 高資本対策補助金の皆増
資本的収入	219,061	185,884	33,177	17.8	
出資金	219,061	185,884	33,177	17.8	集落排水事業出資金の皆増
合計	2,140,853	1,768,831	372,022	21.0	

◎ 用語の説明

○ 消費税等資本的収支調整額

- ・ 資本的支出で支払った消費税と資本的収入で受け入れた消費税との差額
- ・ この差額は、資本的収支の補填財源に使用する。

○ 減債積立金

- ・ 企業債の元金償還に充てるための積立金
- ・ 事業活動によって得た利益を、議会の議決を経て積み立てる。

○ 建設改良積立金

- ・ 建設改良事業に充てるための積立金
- ・ 事業活動によって得た利益を、議会の議決を経て積み立てる。

○ 損益勘定留保資金

- ・ 減価償却費等から長期前受金戻入（国からの補助金等）を除いた額
- ・ 収益的収支のうち、現金を伴わない支出と収入との差額は企業内部に留保され、資本的収支の補填財源に使用する。

○ 繰越利益剰余金処分量

- ・ 前年度末に繰越利益剰余金として確実に見込まれる金額のうち、議会の議決を経て、減債積立金等に処分する予定額
- ・ 繰越利益剰余金は、本来、決算後に議会の議決を経て処分することとなるが、資本的収支の資金不足が他の補填財源を用いても解消されない場合などにおいて、予算に定めるところにより見込まれる金額を補填財源に使用することができる。

**「呉市上下水道ビジョン2024～2033」
「呉市工業用水道事業経営戦略2024～2033」
具体的施策及び復興事業**

呉市上下水道ビジョン2024～2033 基本政策体系

《基本理念》次世代につなぐ信頼ある上下水道 ～呉のみずを守り抜く～

※ ★は重点施策

基本方針

基本政策

具体的施策

1 安全で安定した水循環づくり

1-1 水道水の安全性の確保

- ★(1) 水源系統の最適化
- (2) 水質管理体制の充実

1-2 水道水の供給体制の向上

- ★(1) 水道施設運用の最適化(施設の統合・ダウンサイジング・廃止)
- ★(2) 水道施設の改築・更新及び耐震化の推進
- ★(3) 管路の更新及び耐震化の推進
- (4) 水道施設の維持管理体制の強化
- (5) 水道水を安心してお飲みいただくための活動の推進

1-3 生活排水の浄化体制の向上

- ★(1) 管きよの改築・更新及び耐震化の推進
- ★(2) 下水道施設の改築・更新及び耐震化の推進(施設の統合・ダウンサイジング・廃止)
- (3) 下水道施設の維持管理体制の強化
- (4) 公共用水域への放流水の水質管理の徹底
- (5) 下水道未普及地区の整備促進

2 災害に強い上下水道づくり

2-1 上下水道施設の強靱化の推進

- ★(1) 上下水道施設の強靱化の推進

2-2 防災・減災体制の強化

- ★(1) 浸水対策(雨水整備)の推進
- (2) 防災マニュアルの充実と定期的な訓練の実施
- (3) 応急給水体制・復旧体制の強化及び関係機関との連携強化

3 効率的で持続可能な上下水道づくり

3-1 経営基盤及び組織力の強化

- ★(1) 効率的な事業の推進
- ★(2) ICTを活用した業務の効率化
- (3) 官々連携及び民間活力の導入の推進
- (4) 人材育成・技術継承の推進
- (5) 機能的な組織体制づくり

3-2 環境にやさしい事業活動の推進

- (1) 環境負荷の低減
- (2) 資源の有効活用の推進
- (3) 環境保全活動の推進

3-3 お客様からの信頼の向上

- ★(1) お客様とのコミュニケーションの推進
- (2) お客様の利便性の向上

呉市工業用水道事業経営戦略 2024～2033基本政策体系

基本方針

1 安全で安定した
供給体制づくり

基本政策

1-1 水道の確保

1-2 供給体制の向上

具体的施策

(1) 水源系統の最適化

- (1) 施設及び管路の最適化
(施設及び管路の統合・ダウンサイジング・廃止)
- (2) 施設の改築・更新及び耐震化の推進
- (3) 管路の更新及び耐震化の推進
- (4) 施設及び管路の維持管理体制の強化
- (5) ユーザーとの連携体制の強化

2 効率的で持続可能な
工業用水道づくり

2-1 経営基盤の強化

2-2 組織力の強化

- (1) 効率的な事業の推進
- (2) 民間活力の導入の推進

- (1) 人材育成・技術継承の推進
- (2) 機能的な組織体制づくり

「呉市上下水道ビジョン2024～2033」

「呉市工業用水道事業経営戦略2024～2033」 具体的施策及び復興事業 目次

1. 安全で安定した水循環づくり

- 1-1 水道水の安全性の確保 20
- 1-2 水道水の供給体制の向上 21
- 1-3 生活排水の浄化体制の向上 23

2. 災害に強い上下水道づくり

- 2-1 上下水道施設の強靱化の推進 25
- 2-2 防災・減災体制の強化 26

3. 効率的で持続可能な上下水道づくり

- 3-1 経営基盤及び組織力の強化 27
- 3-2 環境にやさしい事業活動の推進 29
- 3-3 お客様からの信頼の向上 30

復興事業

- 1 上下水道施設の強靱化（再掲） 31
- 2 応急給水体制の強化 31

（注）「呉市工業用水道事業経営戦略2024～2033」に基づく工業用水道事業の具体的施策は、「呉市上下水道ビジョン2024～2033」の該当箇所へ掲載している。

（注）各項目には、主な事業を掲載しているため、令和6年度予算額（右上表記）と合計が一致しない場合がある。

（注）一部、重複計上（（再掲）表記）がある。

1. 安全で安定した水循環づくり

【1-1】水道水の安全性の確保

(1) 【重点】水源システムの最適化

令和6年度予算額 【水道・工水】 34,822千円

- ・ 将来の水需要予測を的確に行うとともに、事故、湧水等の非常事態に対応できる適正な規模の水源を確保するため、水道及び工業用水道の水源を総合的に考慮した水源利用の在り方について検討。その一環として、太田川水源の運用合理化及び自己水源の運用方針検討を実施

- ◆ 《新規》 戸坂取水場取水施設撤去実施設計業務 【水道】 23,320千円
- ◆ 《新規》 戸坂取水場敷地内廃止管処理業務 【水道】 3,795千円
- ◆ 《新規》 三永水源地湧水時運用方針検討業務 【工水】 7,707千円

(2) 水質管理体制の充実

令和6年度予算額 【水道】 4,007千円

- ・ 水源から蛇口に至るまでの水質管理を徹底するため、水安全計画や水質検査計画の運用を適切に行うため、計画的に水質検査機器を更新
- ・ 環境変化に伴う水源等の水質の変動に対応するため、水質改善装置や浄水処理施設を整備

- ◆ [継続] 水質検査機器購入 【水道】 4,007千円



水質検査

1. 安全で安定した水循環づくり

【1-2】水道水の供給体制の向上

(1) 【重点】水道施設運用の最適化（施設の統合・ダウンサイジング・廃止）

令和6年度予算額 【水道】93,830千円

- ・水道施設の更新においては、将来の水需要や使用水量の実情などを検証するとともに、施設の統廃合、施設の縮小や管路更新時に合わせた管路の口径縮小などのダウンサイジング、管網整備など、適切な規模で整備を行い、更新費用や維持管理費を削減
- ・配水池水系の再編（統廃合による配水池の廃止を含む。）に向けた設計業務を実施

◆【継続】配水池築造・ポンプ所建設実施設計業務 【水道】 65,120千円

（戸田加圧ポンプ所、吉浦高区ポンプ所、仁方高区配水池）

◆【継続】長谷ポンプ所場内整備工事 【水道】 28,710千円

(2) 【重点】水道施設の改築・更新及び耐震化の推進

令和6年度予算額 【水道・工水】1,447,803千円

- ・呉市唯一の浄水場である宮原浄水場内の設備や老朽化が進行している配水池等は、施設の重要度、老朽度及び断水が発生した際の市民生活への影響度等を考慮し、地震対策を踏まえた上で、呉市水道アセットマネジメント計画に基づき、効率的かつ計画的に改築・更新

◆【継続】宮原浄水場薬品注入設備工事（機械・電気） 【水道】 918,250千円

◆【継続】久比沖友ポンプ所電気設備その他工事 【水道】 110,000千円

◆【継続】宮原浄水場発電機棟建設工事（建築・電気） 【水道】 103,152千円

1. 安全で安定した水循環づくり

【1-2】水道水の供給体制の向上

(3) 【重点】管路の更新及び耐震化の推進

令和6年度予算額 【水道】 1,454,912千円

- ・ 管路更新計画（令和6年度～令和15年度）に基づき，老朽化が進んだ配水管の統合やダウンサイジングを実施し，事業費の削減を図りながら耐震性の高い管種に更新
- ・ 管路事故等が発生した場合，特に市民生活に大きな影響を与えるおそれの高い基幹管路（宮原浄水場から東部方面，西部方面及び南部方面に給水）を計画的に更新

◆ 【継続】配水管の更新（L=8,972m）	【水道】 980,375千円
◆ 【継続】基幹管路の更新（L=2,489m）	【水道】 452,423千円
◆ 【継続】休山東部幹線の更新（工損調査）	【水道】 22,114千円

(4)水道施設の維持管理体制の強化

令和6年度予算額 【水道】 26,356千円

- ・ 定期的に施設・管路の点検や調査を実施し，予防保全による管理を行い，施設・管路を計画的に修繕し長寿命化を推進
- ・ AⅠ技術を活用した新たな漏水調査方法の実施に向けて検討
- ・ 漏水を早期に発見するため，呉市全域を6つのブロックに分け，効果的な漏水調査を実施

◆ 《新規》AⅠ技術を活用した漏水調査業務	【水道】 9,427千円
◆ 【継続】漏水調査業務	【水道】 16,929千円

(5)水道水を安心してお飲みいただくための活動の推進

- ・ 小規模貯水槽の設置者や管理者に対し，定期的な清掃や検査の必要性等の指導・助言及び勧告を継続的に実施
- ・ 貯水槽方式により給水をしているお客様に対し，直結給水方式の導入を促進

1. 安全で安定した水循環づくり

【1-3】生活排水の浄化体制の向上

(1) 【重点】管きよの改築・更新及び耐震化の推進

令和6年度予算額 【下水】447,650千円

- ・昭和30年代から昭和40年代に整備した中央地区の合流幹線や大口径管きよ等を対象に計画的な管きよ更生を実施しており，引き続きストックマネジメント計画に基づき，幹線管きよの長寿命化及び耐震化を図るとともに，計画的な更新を実施

◆【継続】下水道管きよの改築・更新（L=593m）【下水】447,650千円



更生工事完了後の下水道管

(2) 【重点】下水道施設の改築・更新及び耐震化の推進 （施設の統合・ダウンサイジング・廃止）

令和6年度予算額 【下水】1,605,660千円

- ・老朽化が進行している施設については，ストックマネジメント計画に基づき，可能な限り施設の統合・ダウンサイジング・廃止を実施しながら，計画的な改築・更新及び耐震化を実施

◆【継続】広浄化センターの設備更新

【下水】622,230千円

老朽施設（監視制御設備等）を更新

◆【継続】新宮浄化センターの設備更新

【下水】591,900千円

老朽施設（監視制御設備等）を更新



広浄化センター

1. 安全で安定した水循環づくり

【1-3】生活排水の浄化体制の向上

(3)下水道施設の維持管理体制の強化

令和6年度予算額 【下水】256,735千円

- ・ 予防保全を基本とした定期的な施設機能の点検や調査により施設の状況を的確に把握し、適正な維持管理を行うことにより事故を未然に防ぐとともに、必要な修繕や改築更新を進めることでライフサイクルコストを低減

- ◆ **【継続】 管きよの維持管理（清掃調査等）** 【下水】149,119千円
- ◆ **【継続】 処理場・ポンプ場の維持管理（計装設備等点検）** 【下水】107,616千円

(4)公共用水域への放流水の水質管理の徹底

令和6年度予算額 【下水】11,798千円

- ・ 放流水質を良好に保つため「除害施設」への立入調査・指導を行うなど流入水の水質管理を徹底
- ・ 市政だよりやホームページ等を通じて利用者の環境保全に係る意識を啓発
- ・ 豊かな水環境を求める地域の新たなニーズに対応するため、放流先の水産資源等を考慮した季節別運転を行い、豊かな海の再生や生物の多様性の保全に資する産・学・官の新たな取組を推進

- ◆ **【継続】 水質検査等業務** 【下水】5,986千円

(5)下水道未普及地区の整備促進

令和6年度予算額 【下水】551,900千円

- ・ 下水道の未普及地区については、地域に適した効率的な方法を検討した上で、国庫補助金等を最大限に活用しながら計画的に整備を促進

- ◆ **【継続】 未普及地区の整備（L=3,842m）** 【下水】551,900千円

2. 災害に強い上下水道づくり

【2-1】上下水道施設の強靱化の推進

(1) 【重点】上下水道施設の強靱化の推進

令和6年度予算額 【水道・工水・下水】 5,049,855千円

- ・巨大地震などの自然災害に備えることや長時間の停電に対応することにより、災害時の被害を最小限にとどめ、早期に復旧できるよう、災害時に必要な機能の優先度を考慮しながら施設の改築・更新等を実施
- ・水道施設では、呉市唯一の浄水場である宮原浄水場に停電時に必要な電力を確保する自家用発電設備や基幹配水池のバックアップ管路の整備を進めるとともに、配水池・管路などについては、優先度を考慮した計画的な改築・更新に合わせて耐震化することにより強靱化を推進
- ・下水道施設においては、土木構造物など耐用年数を経過した施設は、改築・更新時に耐震化し、新設の土木構造物は耐震構造とし耐震化を進めるとともに、管きよについては、ストックマネジメント計画に基づく管きよ更生工事等の耐震化により強靱化を推進

◆ 【継続】 管路の耐震化	【水道】	1,454,912千円（再掲）
◆ 【継続】 浄水場の強靱化	【水道】	1,021,402千円（再掲）
◆ 【継続】 配水池等の強靱化	【水道・工水】	520,231千円（再掲）
◆ 【継続】 処理場・ポンプ場の強靱化	【下水】	1,605,660千円（再掲）
◆ 【継続】 管きよの耐震化	【下水】	447,650千円（再掲）

2. 災害に強い上下水道づくり

【2-2】防災・減災体制の強化

(1)【重点】浸水対策（雨水整備）の推進

令和6年度予算額 【下水】213,380千円

- ・市民が安全で安心して生活することができるまちづくりを目指し、JR広駅を中心とした広東地区における大雨による浸水被害の発生頻度の減少や被害の軽減を図るため、雨水の排水処理施設を整備
- ・下水道処理区域を対象として想定最大規模降雨による内水浸水想定区域図を作成

◆【継続】広雨水1号幹線（Ⅱ期）整備工事

【下水】152,000千円

◆【継続】雨水出水浸水想定区域図の作成

【下水】35,000千円

(2)防災マニュアルの充実と定期的な訓練の実施

- ・定期的な訓練の実施，（公社）日本水道協会主催の防災訓練等への参加を継続していくとともに，実際の応援復旧活動や防災訓練への参加を継続することで得た経験を参考にしながら，常に防災マニュアルの見直しを実施

(3)応急給水体制・復旧体制の強化及び関連機関との連携強化

令和6年度予算額 【水道】10,670千円

- ・災害などで一部の地域が断水になった場合に，断水になっていない地域の水を有効活用するため，緊急時給水栓を引き続き整備

◆【継続】緊急時給水栓の設置

【水道】10,670千円

（2か所（昭和・郷原市民センター））

3. 効率的で持続可能な上下水道づくり

【3-1】経営基盤及び組織力の強化

(1) 【重点】効率的な事業の推進

令和6年度効果額 【水道・工水】△258,350千円

- ・ 工事の実施に当たり、将来の水需要を見極めた施設の統廃合やダウンサイジングなど適切な規模での整備を行うことで、事業費を削減
- ・ 保有する遊休施設の利活用や遊休地の売却・貸付の推進を図ることで財源を確保

◆ 【継続】戸坂取水場の廃止による効果額 【水道】△131,508千円

令和6年度予算 3,777千円 — 令和5年度予算 135,285千円

◆ 【継続】遊休地の売却による効果額 【工水】△126,842千円

売却に係る経費 1,158千円 — 土地売却益 128,000千円

(2) 【重点】ICTを活用した業務の効率化

令和6年度予算額 【水道】9,427千円

- ・ 経営の効率化やお客様の利便性の向上に向けて、AIやIoTの活用等、DXについての調査・研究を進め、実現可能なものから導入
- ・ 新たな情報通信技術活用の取組として、水道用スマートメータの研究を進め、お客様の利便性向上につながる取組を検討
- ・ AI技術を活用した新たな漏水調査方法の実施に向けて検討

◆ 《新規》AI技術を活用した漏水調査業務 【水道】9,427千円（再掲）

3. 効率的で持続可能な上下水道づくり

【3-1】経営基盤及び組織力の強化

(3)官々連携及び民間活力の導入の推進

令和6年度予算額 【水道・工水・下水】 1,668,296千円

- ・研修や施設の管理運営等について、実現可能なものから広島県水道広域連合企業団や他市町との連携を推進
- ・業務の効率化を図り、将来にわたって安全・安心で安定的な上下水道サービスを提供していくため、アウトソーシングが可能な業務について、引き続き民間活力を導入

◆ [継続] 下水処理場包括的維持管理業務の委託	【下水】 876,895千円
◆ [継続] 宮原浄水場等維持管理業務の委託	【水道・工水】 509,852千円
◆ [継続] 検針・収納等業務の委託	【水道・下水】 255,764千円
◆ [継続] 水質検査業務の委託	【水道】 25,785千円

(4)人材育成・技術継承の推進

令和6年度予算額 【水道】 220千円

- ・第3次呉市上下水道局職員体制再構築計画に基づく取組により、将来にわたって安全・安心で安定的な上下水道サービスを提供していくため、次世代を担う人材を育成
- ・上下水道事業を維持するために必要な技術・技能・知見・判断力を確実に継承

◆ 〈拡充〉本庄水源地研修施設の改修	【水道】 220千円
--------------------	------------

(5)機能的な組織体制づくり

令和6年度予算額 【水道・工水・下水】 89,446千円

- ・経営環境が厳しい状況においても、安全・安心で安定的な上下水道サービスを提供していくため、重複・類似部門の一元化、意思決定の迅速化及びアウトソーシングの効率的な実施など、業務効率を高め組織の見直しを検討

◆ [継続] 市長事務部局への事務経費の負担	【水道・工水・下水】 89,446千円
------------------------	---------------------

3. 効率的で持続可能な上下水道づくり

【3-2】環境にやさしい事業活動の推進

(1)環境負荷の低減

令和6年度予算額 【水道・工水・下水】 16,602千円

- ・「第3次呉市環境基本計画」に基づく環境保全対策を実施するとともに、環境にやさしい上下水道事業を構築
- ・設備等の改築・更新に合わせ、省エネルギー機器の導入や建物照明のLED化、公用車の電動車への更新を推進し、温室効果ガス排出量の削減を推進

- ◆ 《新規》太陽光発電設備導入可能性調査業務 【水道・工水・下水】 8,976千円
- ◆ 《新規》電気自動車の購入 【水道】 7,626千円

(2)資源の有効活用の推進

- ・浄水場や処理場等から発生する汚泥について、コンポスト（汚泥堆肥）の原材料やセメントの原燃料として100%有効利用するとともに、新たな汚泥処理の方法を調査・研究

(3)環境保全活動の推進

令和6年度予算額 【水道・工水・下水】 297千円

- ・呉市の水源の一つである太田川の源流域にある広島市の水源かん養林「太田川源流の森」での住民参加型の森林保全活動（林業体験，森林学習）を通じて、水源かん養の重要性についての啓発活動を実施
- ・水に親しみ，水循環の大切さ等を啓発するため，小学校訪問授業等を実施

- ◆ [継続] 太田川流域水源涵養推進協議会への負担 【水道・工水・下水】 297千円



森林保全活動

3. 効率的で持続可能な上下水道づくり

【3-3】お客様からの信頼の向上

(1) 【重点】お客様とのコミュニケーションの推進 令和6年度予算額 【水道・工水・下水】 2,562千円

- ・お客様のニーズが高い情報を適切なタイミングで提供するため、市の広報紙、ホームページ及び出前トークなどの既存の手段に加え、SNSなど様々なコンテンツを活用した新たな情報発信への取組
- ・上下水道事業の状況を理解していただくため、上下水道施設見学会や子ども水道教室など直接コミュニケーションができる市民参加型イベントを継続して開催

◆ 【継続】 子ども水道教室などの開催

【水道・工水・下水】 1,907千円



子ども水道教室



上下水道施設見学会



小学校訪問授業

(2)お客様の利便性の向上

- ・スマートフォンアプリにより使用水量や料金などの必要な情報がプッシュ通知され、お客様サービスの向上に活用でき、漏水の早期発見など、経費の削減につながる水道用スマートメータ導入に向けた検討を開始
- ・キャッシュレス決済の拡充を含めた更なる料金納付の利便性の向上策を検討

復興事業

1 上下水道施設の強靱化（再掲）

◎水道施設：水道施設の耐震化等による強靱化の推進 令和6年度予算額 【水道】 2,915,080千円

※主要事業「水道施設運用の最適化」，「水道施設の改築・更新及び耐震化の推進」，「管路の更新及び耐震化の推進」と重複

◆【水道】 2,915,080千円（再掲）

◎下水道施設：下水道施設の耐震化等による強靱化の推進

令和6年度予算額 【下水】 2,266,690千円

※主要事業「管きよの改築・更新及び耐震化の推進」，「下水道施設の改築・更新及び耐震化の推進」，「浸水対策（雨水整備）の推進」と重複

◆【下水】 2,266,690千円（再掲）

2 応急給水体制の強化

◎発災時における応急給水体制の強化

令和6年度予算額 【水道】 10,670千円

・災害などで一部の地域が断水になった場合に，断水になっていない地域の水を有効活用するため，緊急時給水栓を引き続き整備

◆【継続】 緊急時給水栓の設置

（2か所（昭和・郷原市民センター）

総事業費：0.5億円

【水道】 10,670千円（再掲）



緊急時給水栓（阿賀中央公園）